

# ガラスの里復活

(かつて新津はガラスの一大産地でした)

主催：秋葉硝子



市民の集うオープンスペース

秋葉の味

風鈴市



## 秋葉地区の持つ歴史と文化を「ガラスの里復活」でもりあげる

かつて秋葉区の秋葉地区には日本を代表する油田を中心に、石油を運ぶために発展した鉄道、石油を燃料にした一大ガラス産業が存在した。しかし、全国に知られた石油の里、鉄道の町に比べて「ガラスの里」は地元にもあまり知られていない。

秋葉硝子は、唯一現存する歴史ある硝子工場跡内の工房に地域住民が気楽に訪れるオープンスペースを設け、ここをメインに活動した。

開催したイベントは

- 1)ガラスのディスプレイ・フォトスペース
- 2)ガラスのモニュメント製作
- 3)ガラス製の食器・酒器と旬の食材で味わう秋葉の味
- 4)風鈴市及びワークショップ、他。

今後も水と土の芸術祭2018地域拠点プロジェクト「ガラスの里復活」を継続し、新津がガラスの一大産地であったことを認知していただき、新たなガラス文化を築き、秋葉区の観光、食文化、アート等の活性化に貢献したい。また、設けたオープンスペースを地域住民の各種イベントに利用いただき地域の活性化にも貢献したい。風鈴市開催には、新津の堀出神社、新潟県立植物園、明後日朝顔プロジェクト、ちあきの会、新潟市秋葉区老人クラブ連合会、秋葉区役所のご協力を頂戴した。地域の歴史、文化の情報発信及び活性化に活動されている皆様とご一緒したことで地元に貢献できた。今後も、可能な限り地元の活性化に協働したい。

「石油の里」「鉄道の町」と「ガラスの里」の三つが協力し、秋葉区を盛上げることができればと期待している。（文：野瀬）

- 7月14日(土)～10月8日(月・祝) 市民の集うオープンスペース（秋葉硝子）
- 7月27日(金)～7月30日(月) 風鈴市（堀出神社）
- 8月4日(土)、10月6日(土) ガラス製の食器、酒器と旬の食材で味わう秋葉の味（秋葉硝子）